

授業科目	作業療法研究法				
担当者	井口知也（実務経験者）				
実務経験者の概要	学会および学術誌での研究の報告がある。				
学科名	作業療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

作業療法の発展を支えるのは研究であることを理解し、研究に必要な基礎知識を学ぶ。また、演習を通じて、卒業論文実施計画書を作成する技術を身につける。各論の個々の内容は目標を参照。  
井口知也（実務経験者）

## ■ 到達目標

- 1) 研究疑問を立て、研究を進める方法を理解する
- 2) 研究の種類やデザインを理解する
- 3) 研究計画の具体的な手順を学び、実践することができる

## ■ 授業計画

- 第1回 作業療法研究法の概論：井口知也（実務経験者）
- 第2回 研究とは何をするのか：井口知也（実務経験者）
- 第3回 研究の種類と論文構成：井口知也（実務経験者）
- 第4回 研究に関わる基礎知識：井口知也（実務経験者）
- 第5回 研究論文の発表と手続き：井口知也（実務経験者）
- 第6回 実際の作業療法研究事例について：井口知也（実務経験者）
- 第7回 研究疑問の立て方と解決法：井口知也（実務経験者）
- 第8回 文献検索（演習）：井口知也（実務経験者）
- 第9回 文献検索（演習）：井口知也（実務経験者）
- 第10回 研究計画の報告①：井口知也（実務経験者）
- 第11回 研究計画の報告②：井口知也（実務経験者）
- 第12回 研究計画書の作成（演習）：井口知也（実務経験者）
- 第13回 研究計画書の作成（演習）：井口知也（実務経験者）
- 第14回 研究計画書の作成（演習）：井口知也（実務経験者）
- 第15回 まとめ：井口知也（実務経験者）

## ■ 評価方法

以下の素材と割合で総合的に評価する

レポート：80%，取り組み態度：20%（欠席，遅刻早退も評価される）

なお，欠席，遅刻早退は減点対象（無断遅刻・無断欠席は－10点、事前連絡のある遅刻・欠席は－5点とする）

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

講義の際，前回の内容に関する確認をしたり，レポートを提出する。また，講義前に予習として教科書を読んでくること。復習内容やレポートの内容および予習範囲は講義の最後にアナウンスする。

## ■ 教科書

--

## ■ 参考図書

## ■ 留意事項

無断欠席や遅刻に注意すること。

## ■ 講義受講にあたって

「作業療法研究(卒業研究)」で必要になる研究計画書や研究活動などの基礎知識を「作業療法研究法」でしっかりと学習する。